

【ビルマ国内】

- ・ 4日に大統領に選出されたテインセイン氏が議会に提出した閣僚候補者名簿が全会一致で承認された。閣僚30人のうち民間出身は4人で、残りは元軍人。全員が男性。内閣発足日程は不明。(11日 APほか)
- ・ ビルマ民主の声(DVB)の映像記者で、昨年4月に逮捕されたマウンマウンゼヤ氏(55)に、ラングーン地方裁判所が禁固13年の有罪判決を宣告した。親戚によれば裁判では検察側の証人しか証言しなかった。同時に逮捕された息子のシトゥゼヤ氏(21)も昨年末に禁固8年の判決を宣告された(7日 DVB)。現在ビルマには約2,200人の政治囚がいる。

【国際関係】

- ・ 8日、アウンサンスーチー氏が率いる国民民主連盟(NLD)が対ビルマ制裁についての見解を発表した。制裁を支持するとの明記はないが、「制裁が科されたのは、人権状況を改善し民主化を支援するためであった。従って人権侵害や民主化改革といった問題にしっかりと取り組むことこそが、制裁解除の実現につながる」「すべての政治囚の解放は、制裁解除のための重要な要件である」などとあり、現段階での解除は時期尚早との見解であることが読み取れる。(「注目アイテム」欄を参照。)
- ・ 新大統領が選出されたことについて前原外相は「大統領のリーダーシップの下、新政府がより一層開かれた民主的なミャンマーに向けて前向きな措置を講じていくことを期待するとともに、我が国を始め国際社会との関係が一層強化されることを希望する」という談話を出した。(4日外務省)
- ・ 4日、産業別労働組合JAMと在日ビルマ市民労働組合(FWUBC)が民主化運動指導者アウンサンスーチー氏と電話で会談した。氏は「民主主義の重要性をビルマの労働者に知ってほしい。また民主主義実現には日本政府の支援が不可欠であり、現ビルマ政府への圧力が必要だ」などと述べた。(9日在日FWUBC)

【政府開発援助(ODA)】

- ・ 9日に草の根無償資金協力1件(ヤンゴン管区での学校建設、約8万2,000ドル)の契約に調印。

【注目アイテム】

- ・ 国民民主連盟(NLD)の制裁についての声明(8日発表、NLDウェブサイトにて全文掲載)。  
<http://www.nldburma.org/media-press-release/press-release/213-a-review-on-sanctions-imposed-on-burma.html>

【イベント情報】( [ ] 内は主催者。共催等は省略)

- ・ [在日ビルマ連邦少数民族協議会] ビルマ連邦記念日祝典(南大塚ホール、式典13日13~15時、各民族の歌・舞踊等同16~20時)
- ・ [ビルマ情報ネットワーク、ビルマ市民フォーラム、アムネスティ・インターナショナル] フォトジャーナリスト宇田有三報告会「ビルマの今ーそして、これから」(池袋・生活産業プラザ7階、19日18時~)  
★昨年11月の総選挙投票の様子や、アウンサンスーチー氏軟禁解除の瞬間などの写真を紹介。
- ・ 『第1回グローバルセッションとひとの移動映画祭@きょうと』【ビルマ関連の映画上映  
<http://amenic2011.cocolog-nifty.com/blog>】(13日キャンパスプラザ京都・第4講義室)14時~『遙かなる火星への旅』、17時~『OUR LIFE~僕らの難民キャンプの日々~』、18時45分~『PURE~難民キャンプの子どもたち』、19時40分~トーク:ココラット+直井里予+宇田有三(司会:中尾恵子)

もっと詳しい情報・お問い合わせは  
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>